

小樽育成院だより 平成29年4月20日発行

えかぶお

46号
2017年

▶ やすらぎ荘わいわい広場で「初釜」行事、
入居されているご主人の様子に奥様も満面の笑みで応えています



社会福祉法人 小樽育成院 運営理念

基本的人権の確保と擁護

～人間を大切にするサービスの提供～

利用者の自立した生活を支援するためのサービスを提供します。

利用者の生活と生き方を尊重したサービスを提供します。

利用者中心のサービスを提供します。



発行／ 社会福祉法人 小樽育成院

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号

TEL: (0134) 28-2500 (代) FAX: (0134) 26-2476

URL: <http://www.otaru-ikuseiin.com>

社会福祉法人小樽育成院 平成29年度事業計画について

法人として、基本方針の事業計画を示すことにより、各施設や事業所が、事業の計画を立て、事業運営に取り組むこととなります。

基本方針

●社会福祉法人を取り巻く環境が大きく変化し、法人の社会的責任（使命）と存在意義が問われている。
 ●福祉サービスの質の向上、多様化・複雑化する生活課題、福祉需要への対応に努め、時代の要請に応えるため以下の4項目を重点目標として取り組む。

法人本部組織統治

（ガバナンス）の確立への取り組み

◆法人運営理念の実現のため、理事・監事・評議員の体制整備と責任の明確化、本部等の業務執行の明確化と強化等、法人一元化の運営による法令順守。

◆適正な収益の確保と各施設・事業所の効率化、運営体制の見直しによる安定的な財務基盤の確立、透明性の高い財務管理による健全な財務規律の確立。

サービスの質向上への取り組み

◆入居者等の人權と尊厳を確保するため、虐待や不当な身体拘束、感染症の予防に取り組み。

◆サービス提供のためのふさわしい環境を整えて安心・安全なサービスを提供。

◆人材の定着化に取り組み、サービスを向上。

人材の確保と育成に向けての取り組み

◆キャリアパス制度の見直し（雇用及び給与制度の見直し、教育、研修の充実、各種資格取得支援）を行い、待遇の改善と職員育成の充実。

◆良質な福祉人材の確保のため、様々な採用広報の活用。

◆各種実習生や施設見学の受け入れ等も積極的に取り組み、福祉の仕事の啓発。

地域との信頼と協力を得るための取り組み

◆法改正により義務化された経営情報の公表。

◆法人の広報機能を強化し、これまでの120年間の取組に向け、事業運営の積極的な情報発信。

◆地域活性化のため、地域との協働事業の実施に加え、災害時の連携・協力体制の具体的な構築。

◆地域の多様なニーズを把握し、新たな地域貢献事業を検討。

特別養護老人ホーム

やすらぎ荘

小樽市オタモイ1丁目20番18号
 TEL(0134)288-2500
 FAX(0134)266-2476

やすらぎ荘は、概ね65歳以上の要介護3以上の方を対象としている生活施設です。ユニットと呼ばれる家庭的な雰囲気の中で10名前後の入居者が自由に過ごされています。ユニットでは入居者様の生活状態を個別に把握するための24時間シートを活用し、入居者様にあった環境の整備など、ご家族と共に今までの「暮らしの継続」ができるようお手伝いしています。専属のスタッフが配置されている為、「馴染（なじみ）」の関係が作られ、一人ひとりに深く関わるケアを提供しています。

今年度も引き続き、職員の資質向上のための研修体制の強化や職場環境の活性化に努め、入居者様が安心して落ち着いた時間を過ごすことが出来るよう、ケアの更なる向上に取り組んでいきます。



ユニットで夕食のおかず盛付のお手伝い



職員の介護技術取得の研修風景

オタモイ

デイサービスセンター

小樽市オタモイ1丁目20番19号
 TEL(0134)266-1116
 FAX(0134)266-1129

オタモイデイサービスセンターは、その人らしく在宅生活を継続していただけるように、生活を意識したプログラム活動を実施し、一人ひとりに合ったケアの充実を目指してサービスを展開していきます。

また、昨年度より定員が35名から18名になり、地域密着型の小規模デイサービスセンターとして活動していますが、年に2回、「運営推進会議」を実施して地域課題の把握や地域事業等への参加や地域交流事業の充実を図っていきます。

今年度は、より利用者様が楽しんで利用できるよう、屋外昼食会やクリスマス会・屋外ドライブなどの季節の行事など日々のプログラム活動の充実を念頭に、安心して在宅生活が継続できるような事業運営に取り組んでいきます。



宝引きで誰が当たるかな...



ちぎり絵の出来栄えはどうでしょう

養護老人ホーム

小樽育成院

小樽市オタモイ1丁目20番20号
 TEL(0134)266-0162
 FAX(0134)266-2874

育成院では、入居者様の要介護化の進行に伴い、介護職員等の体制強化に努めていますが、入居者様の自立と日常生活を支えて行くためには、幅広い支援が求められています。そこで当施設運営を縁の下から支えているのがボランティア団体や個人の皆様方です。各種クラブ活動を支えるのは職員だけではなく、「詩吟」「茶道」「華道」の講師の先生方をはじめ、「理容」サービスの小林様、各種行事のお手伝いをしてくださる「コープさっぽろ虹の会」の皆様方が、長年に渡りボランティアとして活躍していただいています。（活動の一部は本誌トピックスで紹介）今後の課題については、新規ボランティアの受け入れにも力を注いでいきたいと考えていますので、興味・関心のある方はお気軽にご相談ください。



「虹の会」による「喫茶会がお」のお手伝い



華道クラブの先生による授業風景

オタモイケアプランセンター

小樽市オタモイ1丁目20番18号やすらぎ荘内
 フリーダイヤル 0120-0514-1294
 FAX(0134)266-0884

オタモイケアプランセンターでは、4人のケアマネジャーで約150名の利用者様の居宅支援を行っています。常に利用者様・家族様の意向を踏まえ、適切な介護サービスが受けられるようにサポートしています。

今後高齢者の皆様が住み慣れた地域で生活できるよう、家族の皆様も安心して介護を継続できるように支援させていただきます。困り事は、いつでもご相談ください。

小樽市西北部地域包括支援センター

小樽市オタモイ1丁目20番18号やすらぎ荘内
 TEL(0134)288-2522
 FAX(0134)288-2523

当包括支援センターでは、在宅で生活している方の相談のほか、介護予防教室を市民のサポーターの皆さんと一緒に開催しています。現在（H29・4時点）では、笑顔（長栄会館）、いきいき（赤岩会館）、しおかぜ（塩谷サービスセンター）、なえほ（長和会館）、はびねず（幸会館）と5か所の教室でストレッチや筋トレ、レクリエーションを行っています。今年の5月からは、ひまわり（丸山下会館）も始まりです。詳しくは当センターまでお問い合わせ。

オタモイ デイサービスセンター



◆ 収支の改善及び経営の安定

収支を改善するため、各種サービス内容の見直しや広報誌やホームページの情報発信を強化し、外部から評価される体制づくり、稼働率の増加・安定を目指します。

◆ スタッフの資質向上と組織力の強化

施設内外研修を、研修計画に基づき効果的に行います。

また、スタッフ間のコミュニケーションを強化するとともに、職場の研修教育体制の充実を図ります。

◆ 個別ケアとサービスの見直し

地域密着型の小規模サービスとして、効果的なサービス体制を整え、個別にアセスメントを行い、ニーズに合わせた日常プログラム活動の提供と季節行事や外出レクリエーション等、達成感や喜びを多く感じやすいサービスの見直しを図ります。

◆ 地域・家族・ボランティアへの情報提供と連携の強化

地域密着型通所介護として、6ヶ月に1度「運営推進会議」を実施し、地域に開かれたサービスにしていくことでサービスの質の確保を図ります。

今後も、ボランティアの積極的な受け入れや育成事業を実施していきます。

オタモイ ケアプランセンター



◆ 法令順守と安定した利用者の確保

今年度から始まる日常生活総合支援事業の理解を深め、ニーズに沿ったサービス提供に努めます。新規ケースを積極的に受け入れる事で収入の安定を図ります。

◆ 本人・家族及び関係機関との連携の強化

利用者様が入院時には情報交換を行い、医療・介護保険サービスがスムーズに行えるように連携調整に努めます。

◆ サービス満足度の向上

毎週1回、事業所内でのミーティングを実施し、業務上の改善点や利用者様の情報を共有し、担当ケアマネジャーが不在時でも対応できるように努めます。

◆ 介護支援専門員の資質・専門性の向上・後進の育成

月1回、業務における困難事例等の検討会を実施し、支援への対応力向上を図ります。

また、研修等へ積極的に参加し専門知識の習得に努め資質の向上を図ります。

小樽市西北部 地域包括支援センター



◆ 地域包括ケアシステムの構築を目指して

地域包括ケアシステムの最大のポイントは、高齢者が「住み慣れた地域」で介護や医療、生活支援サポート及びサービスを受けられるよう市区町村が中心となり、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・介護予防」を“包括的に”体制を整備していくという点です。これまでの国主導の高齢者福祉事業やサービスが市区町村主体で行われることにより、高齢者が住み慣

れた地で行政・民間企業・ボランティア団体がより自由に、自主的に地域づくりをしていくことが地域包括ケアシステムです。

私たち西北部地域包括支援センターでは、小樽市からの委託を受けて、地域のお住いの高齢者の生活支援や介護予防などの相談業務に取り組みながら地域包括ケアシステムの構築に向けての事業展開を進めていきます。

新年度における各施設・事業所の 主な事業の取り組みについて

社会福祉法人小樽育成院の各施設・事業所ごとに平成29年度の事業計画を作り、事業運営を行ううえでの重点目標をご紹介します。当法人の基本的な方針については、前ページでお知らせしましたので、ここでは、各施設等の事業運営がどのような目標で進められていくのかを要約して掲載しています。利用者様をはじめご家族の方々にもご覧いただき、当法人への事業運営にご理解とご協力をいただければ幸いです。

養護老人ホーム 小樽育成院



◆ 経営の安定と充実強化

入居者様の要介護度が進み、介護ニーズへの対応を図るため、介護職員の増員や安全な施設の整備が必要です。そのため平成28年度に外部サービス利用型から一般型特定施設に事業転換を図りました。引き続き要介護入居者様の介護保険サービスを拡充していくとともに、経営基盤の強化を進めます。

◆ 人材確保と育成 ～働きやすい職場づくり～

職員に長く勤めてもらうため、職場内研修の充実を図るとともに、介護経験の無い方や新卒高校生の採用を行うための研修プログラムを新たに整備し、施設の職員体制の強化を図ります。

◆ 施設の整備と自立支援

介護職員を増員し、入居者様の自立支援のサービス提供を行うとともに、引き続き老朽化した設備機器等の取替や、国で進めている介護ロボット分野での展示会や研修会に参加しながら導入にあつての研究調査を進めます。

◆ 地域連携と情報発信

土砂崩れ等の防災対策等のため、施設利用を含めた地域連携のあり方や非常災害対策計画等の構築のほか、入居者様と地域住民や児童との交流を図ります。

また、新規ボランティアの促進に取り組むとともに、ホームページを活用した施設の情報発信に努めます。

特別養護老人ホーム やすらぎ荘



◆ 収支の確保と法令遵守

収支の安定が入居者様や職員にとって安心できる環境づくりにつながります。入居をお待ちの方々への早めの情報提供により、入居がスムーズに運ぶよう工夫するほか、ショートステイについても細かい調整による効率的な受け入れを図ります。

◆ 人材の確保と育成

新しい職員が無理なく職場に定着できるよう、これまで以上に新規採用時における研修を含めたバックアップ体制づくりや、介護技術の向上や福祉機器の活用による職員の負担軽減も併せて進めます。

◆ 理念の浸透とサービス実践

理念は言葉だけではなく、実践につながらなければなりません。このことを目標に今年度の研修計画においては、理念研修や接遇研修の充実を図ります。

また、委員会活動を通して多くの職員が施設運営に参画できる機会を作ります。

◆ 地域連携と情報発信

ホームページの更新など地域へのタイムリーな情報発信のほか、委員会活動によっては地域にお住まいの方に委員をお願いするなど、連携を深める機会を増やしていく予定です。

平成29年度社会福祉法人小樽育成院 資金収支予算額内訳

(自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	法人本部	小樽育成院		特別養護老人ホームやすらぎ荘(拠点)					地域包括支援	内部取引消去	法人合計	
		養護(拠点)	措置施設	特定施設	特養(拠点)	福祉施設	短期入所	デイサービス				ケアプラン
介護保険事業収入		173,970		173,970	589,400	471,000	57,850	36,250	24,300	50,708		814,078
老人福祉事業収入		311,240	311,240									311,240
障害福祉サービス等事業収入					500			500				500
その他の事業収入		250	250									250
経常経費寄附金収入		300	300									300
受取利息配当金収入		10	10									10
その他の収入		1,880	1,880		3,850	3,800		50		40		5,770
流動資産評価益等による資金増加額												
事業活動収入計		487,650	313,680	173,970	593,750	474,800	57,850	36,800	24,300	50,748		1,132,148
人件費支出	2,000	272,240	181,050	91,190	353,000	271,500	40,200	23,550	17,750	41,580		668,820
事業費支出	500	122,000	104,440	17,560	79,700	62,700	8,400	7,800	800	1,550		203,750
事務費支出	7,300	68,790	45,870	22,920	106,950	82,850	12,850	6,900	4,350	6,700		189,740
利用者負担軽減額					4,500	3,800	600	100				4,500
支払利息支出					6,200	6,200						6,200
その他の支出		980	660	320	1,400	1,400						2,380
流動資産評価損等による資金減少額												
事業活動支出計	9,800	464,010	332,020	131,990	551,750	428,450	62,050	38,350	22,900	49,830		1,075,390
事業活動資金収支差額	△ 9,800	23,640	△ 18,340	41,980	42,000	46,350	△ 4,200	△ 1,550	1,400	918		56,758
施設整備等補助金収入												
施設整備等寄附金収入												
設備資金借入金収入												
その他の施設整備等による収入												
施設整備等収入計												
設備資金借入金元金償還支出					21,600	21,600						21,600
固定資産取得支出		1,080	1,080		1,000	1,000						2,080
その他の施設整備等による支出												
施設整備等支出計		1,080	1,080		22,600	22,600						23,680
施設整備等資金収支差額		△ 1,080	△ 1,080		△ 22,600	△ 22,600						△ 23,680
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入												
長期運営資金借入金収入												
積立資産取崩収入					2,000			2,000				2,000
拠点区分間長期貸付金回収収入	5,000										△ 5,000	
その他の活動による収入		220	220									220
その他の活動収入計	5,000	220	220		2,000			2,000			△ 5,000	2,220
積立資産支出												
拠点区分間長期借入金返済支出					5,000	5,000						△ 5,000
その他の活動による支出		4,800	4,800		6,750	5,900		450	400	900		12,450
その他の活動支出計		4,800	4,800		11,750	10,900		450	400	900	△ 5,000	12,450
その他の活動収支差額	5,000	△ 4,580	△ 4,580		△ 9,750	△ 10,900		1,550	△ 400	△ 900		△ 10,230
予備費支出		3,000	1,500	1,500	1,500	1,000			500			4,500
当期資金収支差額	△ 4,800	14,980	△ 25,500	40,480	8,150	11,850	△ 4,200	500		18		18,348
前期末支払資金残額	24,850	162,343	47,913	114,430	153,329	149,074	△ 22,019	4,598	21,676	8,537		349,059
当期末支払資金残額	20,050	177,323	22,413	154,910	161,479	160,924	△ 26,219	4,598	22,176	8,555		367,407

※社会福祉法人の会計基準による予算書は、資金収支に関わる予算額となっています。従って、民間会社での損益計算を表すものは、決算の事業活動計算書にて、決算時においてお知らせします。
※地域包括支援に係る予算は、小樽市の委託事業による公益事業となっています。

当法人では、ホームページ(<http://www.otaru-ikuseiin.com>)にて情報公開を行っております。

育成院 検索 で、詳細な財務諸表もご覧いただけます。

私たちは日本財団「夢の貯金箱」を応援しています。
当施設でも「1本で10円の寄付ができる自販機」を設置しています。



月	法人	育成院	やすらぎ荘	地域包括
4月	【法人】 喫茶「えがお」(毎月)	【やすらぎ荘】 歌・花サークル、茶話会(毎月)	【デイ】 音楽セラピー、絵画サークル、和紙工芸(毎月)	【地域包括】 事業所向け広報紙「ニコリティー」 4月、7月、12月発行
5月	【法人】 理事会	【育成院】 リズム体操教室(毎週火曜日)、花まつり	【デイ】 春のドライブ	【地域包括】 シニア元気教室(毎月2回) 地域向け広報紙「にこりてい」 5月、8月、1月発行
6月	【法人】 定時評議員会・オタモイ唐門まつり	【育成院】 パークゴルフ始球式		
7月	【法人】 管内利用者交流パークゴルフ大会 育成院運動会 ジギスカン昼食	【育成院】 野外昼食会(鮭のチャンチャン焼き)	【地域包括】 包括支援センター運営協議会	
8月	【法人】 合同慰霊祭、地藏尊祭、オタモイ盆踊り・花火大会(町会と共催)	【育成院】 七夕飾り	【やすらぎ荘】 中庭昼食会	
9月	【法人】 理事会 小樽潮太鼓演奏 苦情相談・虐待防止委員会	【育成院】 バス旅行会 敬老の日行事	【やすらぎ荘】 敬老の日行事	【デイ】 敬老の日行事
10月	【法人】 育成院神社祭 法人町会合同防災訓練	【育成院】 ロース幼稚園来訪	【やすらぎ荘】 中央幼稚園来訪	【デイ】 秋のドライブ 【地域包括】 介護予防フェアー(ウイングベイ小樽)
11月	【法人】 理事会 介護相談フェアー	【育成院】 長橋幼稚園来訪	【地域包括】 虐待防止ネットワーク会議	
12月	【各事業所】 クリスマス会(育成院)			【やすらぎ荘・デイ】 餅つき
1月	【法人】 理事会 【各事業所】 新年交礼会	【育成院】 獅子舞、かるた会、初釜、鏡開き	【やすらぎ荘】 獅子舞、初釜	【デイ】 新年会
2月	【育成院・やすらぎ荘】 節分、雪あかりの路、夜間想定防災訓練	【育成院】 お鍋の会	【地域包括】 高齢者見守りネットワーク会議 包括支援センター運営協議会	
3月	【法人】 理事会	【育成院】 雑祭り・お茶会	【やすらぎ荘】 生寿司	【デイ】 雑祭り
		【地域包括】 SOSネットワーク会議		

【法人】…法人全体 【育成院】…小樽育成院 【デイ】…オタモイデイサービスセンター 【地域包括】…北西部地域包括支援センター

平成29年度 社会福祉法人小樽育成院のおもな年間行事予定

※太文字の行事を写真で掲載し、昨年度のものを使用しています。

小樽育成院各ボランティア団体と

『初釜』でコラボ

共同作業

初の試みで入居者様は大満足

育成院では、毎年1月に新年行事として「茶道クラブ」による『初釜』を開催していますが、今年他は他のボランティア団体とのコラボによる新年行事として初めて取り組みました。

コラボしていただいたボランティア団体は、「茶道クラブ」「詩吟クラブ」「華道クラブ」「コープさっぽろ虹の会」「小樽ドリーム琴アンサンブル」と「理容ボランティア」の小林様にも参加していただきました。

開催当日の様子ですが、会場は食堂で行い、お茶会コーナーでは、移動式の畳の小上がり台を5畳ほど用意し、そこで先生方からお茶をたてていただき、参加した入居者様からは「美味しい」の声が沢山聞かれました。一方のステ-



茶道教授のお茶たての様子とお弟子さん

ジコーナーでは、

詩吟の先生方による新春にふさわしい詩を吟じていただき、また、「小樽ドリーム琴アンサンブル」の皆様からは素晴らしい琴の音色で会場を盛り上げていただきました。

「華道クラブ」は、前日、会場入口の迎え花とクラブ員の生けたお花は娯楽室に展示し、参加者の目を楽しませていただきました。

また、会場の運営を支えていただいた「コープさっぽろ虹の会」の皆様にもお茶碗洗いなどを手伝ってもらい、まさしく小樽育成院の各ボラン



琴の音色が会場一杯に広がります。



声高らかな節回しで詩吟が響き渡ります。



▲前日に華道クラブの入居者様が花を生けて、皆様が集る娯楽室で作品を展示しました。

▼「虹の会」ボランティアの皆様によるお手伝いで、入居者様もお茶やお菓子をいただき、少し緊張気味のようでした。



ティアのコラボによって、今までになく豪華絢爛な新年行事を開催することができました。入居者様も帰り道、口々に「大変すばらしい初釜でした、有難いです。感謝します。」という言葉を送り、今後につながることでございました。ご協力くださいましたボランティアの皆様、大変ありがとうございました。

編集後記

新年度も始まり、社会福祉法人改革も一段落した感はあるものの、これからは広報誌の発行回数を増やし、当法人の広報編集委員として各事業所の記事を取りまとめ、利用者様等にお届けしようという精一杯頑張りたいと思います。この編集後記は、編集委員が持ち回りで編集を終えた後の感想などを独り言的に綴って行こうと思っています。

当福祉法人は、道内の福祉施設の中では歴史がありますが、昨年からは今年にかけて準備をしていることがあります。それは平成30年6月10日に当法人が創立120年を迎えるため、節目の年に記念事業を行うためです。この事業にどう取り組むか、小樽市総合博物館の館長と学芸員の力を借りて進めているところですが、館長曰く、「小樽経済の発展とともに小樽の福祉も大きくなってきたことに目を見張るものがある。」ということでした。平成30年度に予定している記念事業が楽しみです。